

生産者の皆様へ



ムツスジアシナガゾウムシの発生に注意 (サツマイモ・チャ)



- ・令和5年に鹿児島県（鹿屋市，大崎町，志布志市）で初めて確認。
- ・令和6年4月下旬の調査では，定植後のサツマイモほ場で茎葉の被害，チャで新芽の被害を確認。

ムツスジアシナガゾウムシの特徴



成虫
(体長：約9mm)

- ・成虫の背面は灰色地に黄色い縦筋。
- ・幼虫はヒルガオ科植物の茎内（つる）で発育。さなぎを経て羽化し，脱出孔から茎外へ出る。
- ・寄主植物はサツマイモ，ノアサガオなどのヒルガオ科植物。なお，海外では成虫がバレイショ，ダイズ，カンキツなども加害するとされる。
- ・成虫は，葉柄の部分摂食し，食害を受けた葉は垂れ下がる。



サツマイモ
葉柄の食害



葉柄の食害により
垂れ下がった葉



つるの膨れと内部の幼虫（上）
とさなぎ（下）



脱出孔
(直径約5mm)



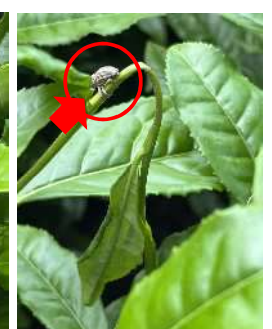
サツマイモほ場では周縁部ほど
被害が多く認められる



チャ葉柄の食害



葉柄の食害により垂れ下がった
チャ新芽（▲：成虫）



ムツスジアシナガゾウムシの防除

・ムツスジアシナガゾウムシに対する登録農薬はないため、サツマイモ及びチャでは、植物防疫法第29条 1 項に基づく措置として、発生ほ場では下記の農薬登録内容を遵守し、農薬による防除を行うことができます。

・使用にあたってはラベルを確認し、農薬の適用作物、使用方法、使用時期、散布液量、希釈倍数、使用量、使用回数を守ることで、出荷停止等、流通に支障が生じることはありません。

サツマイモの農薬登録内容 令和7年1月現在

商品名	使用時期	使用回数	希釈倍数
ベネビアOD	収穫7日前まで	3回以内	4,000
コテツフロアブル	収穫前日まで	2回以内	2,000～4,000
グレーシア乳剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000～3,000
スミチオン乳剤	収穫7日前まで	5回以内	1,000

チャの農薬登録内容 令和7年1月現在

商品名	使用時期	使用回数	希釈倍数
エクシレルSE	収穫7日前まで	1回以内	2,000
コテツフロアブル	収穫7日まで	2回以内	2,000
グレーシア乳剤	収穫14日前まで	1回以内	2,000～3,000
スミチオン乳剤	収穫21日前まで	1回以内	700～1,000

サツマイモでは植付直後の苗が激しく食害されると枯死や生育不良による収量の低下を招く恐れがあるので、ほ場をよく見回り、早期発見・防除に努めてください。